

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	インタラクティブメディア設計学 (加藤 博一 (教授))		
学籍番号	2111063	提出日	令和 5年 1月 19日
学生氏名	岡見 洋佑		
論文題目	AR情報提示による自動走行ストレスの軽減効果の調査		
要旨			
<p>近年、自動走行についての研究が盛んに行われている。そのため、自動走行分野では、他車と衝突しないための安全性や目的地に早く到着するための経路設計、エネルギー消費の効率性についての研究が主にされている。しかし、普段から運転している人が自動走行車に搭乗すると、恐怖心や不安感を感じると予測される。そのため、自動走行車の社会的普及や継続的利用の観点から搭乗者の快適性を考慮することが重要である。自動走行特有の恐怖心や不安感からくるストレスを軽減する手法の一つとして、情報提示手法が有効であることが従来研究から分かっている。従来研究では、音声やディスプレイによる文字情報を用いた情報提示手法を提案しており、ストレス軽減に効果がある。しかし、正確な位置情報を提示する必要のあるストレス要因に対しては拡張現実感(AR)を用いた情報提示手法がより効果的だと予測される。そこで本研究では、正確な位置情報が必要となるストレス要因に対して認知と判断の観点から情報提示を行い、その効果について実証実験を通して検証する。認知における情報提示では、障害物の位置を提示し、判断における情報提示では、走行軌跡を提示することでストレス軽減を図る。実験では情報提示なし、音声のみ、音声とARの組み合わせの3つの条件で比較し、アンケートによる主観評価と生体センサによる客観評価を通してAR情報提示手法のストレス軽減効果についての調査を行う。</p>			